

# 辺野古土砂搬出反対全国協ニュース

発行/ 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 <No.3> 2016年3月

## 《山口》

### 山城博治さんの報告に参加者 120 人が鼓舞され

2016年1月17日「山口のこえ」結成記念講演

代表 大谷正穂・事務局長 山田誠

山口県内の2カ所の採石場は門司3カ所とともに、沖縄防衛局は「門司地区」として候補地に挙げています。土砂を送らせないために何が出来るか考えました。県内の土砂で辺野古に新基地が造られようとしていることを広く訴えることは勿論ですが、沖縄県の「外来種条例」に注目しました。条例は属地主義で県外には適応できませんが、これを手がかりになにか実効性のある取り組みが土砂搬出地でできないか、試行錯誤ですがいくつかのヒントを得ました。

地方自治法には行政の広域連携が謳われています。これを適用している事例は各地にも多いはず。採石法には関係する行政の「指導、助言」が盛られています。行政の持っている権限を市民の後押しで活用させたい。岩国基地への艦載機移転や上関原発建設など、後ろ盾になる地元の安倍総理の顔色をうかがい問題解決を先延ばしにする県政にキッパリとした姿勢を迫るとともに、行政も避けられないテーブルを用意し話し合っていくことに注力したいと思います。

山口県は30年以上にわたる上関原発建設反対運動があり、祝島の人たちを支える長年にわたるつながりがあります。これが今回のグループ立ち上げに大いに寄与しました。また、県議会には「立憲議連」がつくられ政治的意見を越えた結びつきが来ています。オール保守の地域ですが、辺野古の海で、キャンプシュワブの前で、排除されても排除されても闘い続けるみなさんの背中を見るとき、この問題と取り組んでいる人たちと一緒にがんばろうと力がわきます。よろしくお祈りします。



開会の挨拶をする大谷共同代表

## —目次—

- 《山 口》山城博治さんの報告に参加者 120 人が鼓舞され・・・1 ページ
- 《徳之島》建設に同意しないことを全会一致で決定・・・2 ページ
- 《天 草》辺野古連帯と湯浅一郎氏講演会を精力的に・・・3 ページ
- 《三 重》地元で辺野古新基地建設のケーソンは作らせない!・・・4 ページ
- 《国頭郡本部》コンサート・シンポ・学習会…町民と共に成功に・・・5 ページ
- 《北九州》琉球新報・松元剛氏を迎え、講演会と懇談会・・・6 ページ
- 《奄 美》大雨による採石場の泥水が、海を汚染・・・7 ページ
- 《全 国》インフォメーション・・・8 ページ

《徳之島》

# 建設に同意しないことを全会一致で決定

全国協議会共同代表 阿部悦子

昨年12月15日、奄美大島の大津共同代表のお世話で、辺野古への岩ズリ搬出予定地である鹿児島県徳之島を訪問しました。奄美護憲平和センターの當村勝文さんのご案内で島内を一周し、採石予定地などを見て回りました。広々として豊かな大地と美しい海岸線、私は「ソテツのトンネル」と呼ばれて今も残る古来からの風景に心を奪われました。

フェリーが発着する亀徳港近くの「とくのしま漁協」で待ってくださっていた元田隆丸組合長にお話を伺いました。2013年の夏から業者の動きがあり、2014年10月には島内の3町長と漁協に土砂搬出のための栈橋設置計画が示された。これに対して11月7日の漁協理事会で建設に同意しないことを全会一致で決定したという。

「我々は海に生かされている。我々海の男は海を傷つけてはならない」「今奄美・徳之島・沖縄が世界自然遺産を申請している中、逆行するのではないか」「金のためになりふり構わぬ自然破壊は、子や孫のためにやってはならぬ」「この問題で私を海に沈めても、仲間が一糸乱れぬ結束で海を守る」・・・このようなお話を聞いて、徳之島の現場で故郷の環境

破壊に歯止めをかける漁業者がいてくださることが心強く、涙が出る思いでした。徳之島では採石予定地でも採石業者の動きが全くなかったことにも納得がきました。

「漁協という組織上全国連絡協議会への加入はできない」と言われましたが、「友好団体」として情報交換などをしていくことを約束して帰りました。



「海の男は海を売らない」と、とくのしま漁協組合長



積出し栈橋設置予定地の南原海岸



「とくのしま漁協」で懇談する、徳之島のみなさんと阿部共同代表

2016年2月27日付け  
沖縄タイムスより

## 徳之島 土砂施設に反対

### 辺野古へ積み出し 漁協が全会一致

**【南海毎日新聞提供】**  
 徳之島の埋め立て用土砂  
 飛行場代替地建設に伴う  
 護国市辺野古への米軍普天間  
 基地建設に賛同する  
 地方紙ネット

採取計画に関連し、徳之島町南部の南原海岸で鹿児島県外の業者が計画した土砂の積み出しのための仮設栈橋などの施設建設を持つとくのしま漁業協同組合（元田隆丸組合長、組合員319人）は26日、臨時の理事会を開き、あらためて施設の建設に同意しないことを全会一致で決めた。同漁協は計画をめぐって「国側の接触があったと懸念を示し、「海を守るために、いかなることがあっても計画に賛成しないことを再度確認した」と述べた。

徳之島の土砂採取については、県外の業者が徳之島町金見、南原の2カ所を年間最大350万立方メートルの採取と、南原海岸で土砂を積み出すための仮設栈橋などの施設の建設を計画。栈橋は6千トンの大型船舶の接岸を想定し、事業費は10億円を見込んでいた。

同海岸への施設の建設には県の許可が必要で、申請には漁業権を持つ同漁協の同意書の添付が求められる。業者側から建設への同意を求められた同漁協は2014年11月、施設が容易に撤去できないことや、現況復旧が見込めないことを理由に、建設に同意しないことを全会一致で決めた。



《天草》

# 辺野古連帯と湯浅一郎氏講演会を精力的に

「辺野古土砂搬出反対熊本県連絡協議会」事務局 生駒研二

山口県周南市での『山口のこえ発足集会』に参加された全国連絡協議会の役員の皆様ありがとうございました。東京新聞の【面魂(つらだましい)】に奄美の老闘士として紹介された、私たちの共同代表：大津幸男さんの凛とした姿と提言。全国の土砂搬出予定地に足を運び、しなやかに手をつなぐ活動をされている、同じく共同代表の阿部悦子さんのぶれない、真綿を感じるような強さ。北九州で土砂搬出反対ニュースを精力的に発行し、辺野古へ仲間とともに足を運ぶ事務局の八記久美子さんのソフトな笑顔。強面なのにかわい笑顔で会を進められる事務局長の松本宣崇さんの酒席での元気な声(ビックリポンヤ)。そして何より、講演者の沖縄平和センター議長の山城博治さんの、沖縄の座り込みの徹底抵

抗・非暴力・歌と三線に踊りありの、涙を超えた明るい闘いの紹介が、私を強く元気づけてくれました。『座り込み、ここへ』『沖縄 今こそ立ち上がろう』と一緒に歌い、交流会ではご自分のガンのお話もしてくださり、7年間ガンと同居している私にも励ましを与えてくださいました。本当に山口で素敵な人々と一緒に活動しているのだと再認識し、感謝しているところです。

さて熊本の活動ですが、1月7日に共同代表者会を開き、板井優共同代表提案の「沖縄辺野古行き」と、私からの提案の全国連絡協議会の顧問の「湯浅一郎氏の講演会」の開催を決定しました。その後、事務局で段取りを行い、次の日程で実行することになりました。

## ①沖縄辺野古連帯行動【2月15日(月)～17日(水) 参加者7名】

2月15日 11:05 熊本空港発→12:40 那覇空港着その後8人乗りレンタカーで行動

2月16日 日教組全国教研岩手大会で出会った沖縄高教組福元委員長のコーディネートで、辺野古訪問と米軍基地関連施設見学。〔辺野古では参加者の方の尽力で、参議院沖縄選挙区の統一候補の伊波洋一さん(元宜野湾市長)が、私たちを迎え、交流していただくことになっています〕

2月17日 午前：座り込み活動参加。15:30 那覇空港発→16:55 熊本空港着

## ②湯浅一郎顧問の講演会と行動日程

3月5日(土) 午後2時～4時「戦争法……米軍と沖縄辺野古」(熊本市青年会館)

3月6日(日) 午後2時～：「同タイトル」(天草市民センター大会議室)

湯浅さん行動予定

- 3月5日(土) 8:45(羽田発)→10:45(熊本着) 14:00～16:00 講演→天草へ
- 3月6日(日) 午前：御所浦見学→14:00～16:00 講演 18:00 交流会・天草泊
- 3月7日(月) 午前：あまくさ案内→午後熊本空港へ 16:30(熊本空港発)  
もしよろしかったら、熊本・天草へいらっしゃいませんか。大歓迎ですよ！



キャンプ・シユワフの  
ケイト前で

## 《三重》

# 地元で辺野古基地のケーソンはつくらせない！

辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会 代表 柴田天津雄

昨年(2015年)2月、沖縄の仲間から大変なニュースが飛び込んできた。三重県で、辺野古基地の土台となるハイブリッドケーソン6基がつくられるそうだ。どこの工場で作られるのか調べた上で、できれば反対運動をはじめてほしい、ということだ。

ハイブリッドケーソンとは一体なにか。長さ52m、奥行き22m、高さ24m、総重量7400tの鉄筋コンクリート製の巨大な箱で海上空港をつくる時に箱ごと海に沈めて、その中に各地からの土砂・砂利を投入し、それを埋め立てて、護岸にするものらしい。そんなものをつくるのは造船所以外にない。いろいろ調べた結果、津市にある旧日本鋼管造船所で、いまJFEエンジニアリング(株)津製作所以外にないことがわかった。私たちの目の前の工場だ。

3月、県内の市民運動のグループ、労働組合、政党に呼びかけて対策会議をもった。その場で「県民の会」を立ちあげて、さっそく、この事実を県民に知らせること、JFEエンジニアリングにケーソンをつくらぬよう要請、抗議行動をすることを確認し、少なくとも毎月1回以上のチラシ撒き行動をすることを決定した。4月には立ちあげの決起集会をすることも決めた。

4月の決起集会には40数名が集まり、会の方針を説明するとともに、辺野古に常駐している富田さんから、辺野古の現状の報告を聞

いた。5月には、JFEエンジニアリングの正門前で、出勤してくる社員対象に、早朝チラシ撒きをおこなった。2000人も従業員がいることを知らずに、500枚のチラシを持って行ったら、ほんの20分程で、チラシが全部なくなった。多くの人がチラシを受け取ってくれた。JFEはこの時、事前に私たちの要請文を受け取ると約束しておきながら、当日、一切顔を見せない裏切りをした。

以後、私たちは、津駅前、四日市駅前、伊勢市駅前などで毎月、10数人でチラシ撒きを続けている。今まで(1月まで)に6000枚以上のチラシを配ってきた。昨年10月にはJFEが市民向けにおこなった秋祭りの真正面で、大きな看板を立て、スピーカーを鳴らして1000枚ほどのチラシをまいて宣伝活動をおこなった。

いよいよ本格的なケーソン製造が迫っている。わたしたちにとってもおおきな正念場が近づいてきている。



上下…JFEが市民向けにおこなった秋祭りでは、大きな看板を立て、スピーカーを鳴らしチラシをまいた







《北九州》  
琉球新報・松元剛氏を迎え、講演会と懇談会

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会 共同代表 森下宏人

先の宜野湾市長選は残念な結果でした。新基地建設を止める重要なたたかいの一つとして期待が大きかっただけに悔しさも大きかったのですが、「この悔しさは、次のたたかいの原動力」「私たちは負けない、勝つまでたたかうから」など、沖縄の人たちの心意気に私たちが逆に励まされています。

1月30日、琉球新報社の松元剛編集局次長の講演会を開催し、沖縄の現状と基地問題の真相を学ぶことができました。米軍ヘリの沖縄国際大校舎墜落事故に際し日本の警察・消防が指一本触れることも出来なかったことなど沖縄のおかれている現状、安倍首相の親衛隊ともいべき若手議員グループ会合での「沖縄二紙をつぶせ」という作家・百田尚樹発言に対する琉球新報のジャーナリズム精神に立った毅然たる報道姿勢などが印象的でした。

私たちはこれまで、署名運動をはじめ、三上智恵監督の映画「戦場ぬ止み」の映画会や講演会、採石現場の視察、宜野湾市長選では寄せ書きの幟を贈ることしか出来ませんでした。

た。また、「戦争のための基地づくりに土砂を出さないでほしい」という採石業者の良心に訴える手紙を出しました（返事なし）。お隣の山口県にも埋立土砂搬出反対の運動団体「山口のこえ」が結成されましたが、北九州市の採石所も山口県の砕石所も同じ経営者ということからも、連携し運動をすすめたいと考えています。私たちはいろんな団体の集いや会合に参加し、埋立土砂搬出反対の運動について話をしています。

安倍政権は宜野湾市長選の結果を辺野古基地建設が支持されたとして、工事を強行してくるでしょうが、彼らにとってクリアしなければならない課題は多々あります。同時に私たちの運動も強化が求められていると思います。安倍政権は戦争する国づくりをあらゆる面ですすめています。これらを止めるために、多くの団体・個人が今起ち上がっています。こうした団体・個人と連帯し埋立土砂搬出反対の運動をより発展させたいと思っています。



琉球新報報道本部長・松元剛さんの講演会には 177 名が集まりました



講演会終了後開いた賛同者の懇談会には、松元剛さん(右の写真の右)にも参加していただき、「これからどんな運動が必要か」をテーマに話し合いました。「政治的なことも大事だが、まずは文化を入口として沖縄に触れ、交流しては…」など、出された意見の具体化を世話人会で、早速行いました。





# インフォメーション

## ■沖縄交流会のご案内 4月17日(日)~4月19日(火)

上記日程で、「辺野古土砂搬出反対」全国連絡協議会と沖縄の交流会を、名護市で行います。今は、大雑把な日程しか決まっていますが、3月中旬に阿部共同代表が沖縄に行き、具体化するようになっています。

日程…那覇空港にマイクロバスのお迎えあり。時間未定。集合4月17日(日)夕方、名護市に集合。夜は連絡協議会の懇親会。翌日から、キャンプ・シュワブグレート前早朝座り込み。大浦湾でグラスボート。沖縄の皆さんとの学習交流会。二日目は現地視察で伊江島コースと高江コースを予定。

※名護バスセンター近所の「ゆがふいん沖縄」を、何部屋か抑えています。1泊朝食付きで4000円(4人部屋)~5500円(1人部屋)。

ホテルの申し込みは、3月15日まで阿部さんに(090-3783-8332)。

## ■ただいまの参加団体数…8県17団体

新しく加盟した4団体

- ・「辺野古に土砂を送らせない」山口の声
- ・南大隅を愛する会
- ・本部町島ぐるみ会議
- ・辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会

\*\*\*\*\*

奄美市住用町市環境対策委員会、海の生き物を守る会、  
沖縄・辺野古に新基地をつくらせない広島実行委員会、環瀬戸内海会議、五島列島・自然と文化の会、自然と文化を守る奄美会議、小豆島環境と健康を考える会、手広海岸を守る会、播磨灘を守る会、「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会、辺野古埋め立て土砂搬出反対熊本県連絡協議会、故郷の土で辺野古に基地をつくらせない香川県連絡会、門司の環境を考える会 ※五十音順

運動が確実に  
広がっていて、  
嬉しいです。



## ■カンパ等の振込先

郵便振替 01750-8-144158 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会  
会費が未納の団体は、入金をよろしくお願いします。

## ■編集後記

○2月初旬の発行予定が大幅に遅れてしまいました。原稿を急いで書いていただいたみなさん、本当に申し訳ありませんでした。今後は予定通り進むよう、今回の教訓を生かしたシステム作りを行いたいと思っています。転んでもただでは起きないぞ。(八記)

○「2・21首都圏アクション・国会大包围、止めよう！辺野古埋め立て」で、全国連絡協議会からもアピールさせてもらい大きな反響をいただきました。用意した2枚3000セットの「三重のケーソン」を含む署名用紙は、短時間で配り終えました。28000人が参加したこの集会のことが本土のマスコミでは全く報じられなかったことに、沖縄・辺野古の本土側の深刻な問題を、改めて感じているところです。(阿部)

《辺野古土砂搬出反対全国協ニュース》

発行責任者…全国連絡協議会共同代表 大津幸夫(自然と文化を守る奄美会議)

阿部悦子(環瀬戸内海会議) hibi\_etsuko@yahoo.co.jp

編集…松本宣崇(環瀬戸内海会議) nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp

八記久美子(門司の環境を考える会) kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp

連絡先…愛媛県松山市松前町3-2-2 阿部悦子 Tel090-3783-8332